中国天津の西青経済技術開発区及び武清開発区との
業務協力協定書の締結について

みずほ銀行(頭取:佐藤康博)及びみずほ銀行(中国)有限公司(以下みずほ中国)は、中国天津の西青経済技術開発区及び武清開発区との間で本日、業務協力協定を締結しました。

西青経済技術開発区は、天津市の西南に位置する国家級開発区で、電子情報、自動車関連、バイオ医薬などの産業の集積地となっています。また、武清開発区は、天津市の東北部に位置する国家級開発区で、従来から進出している自動車関連や電子部品産業に加え、近年ではバイオ医薬、ハイテク、新素材関連などの産業が多数進出しています。

本協定は、日系企業の進出支援等を通じ、各当該地域の経済発展への相互協力を図ることを目指しており、西青経済技術開発区、武清開発区への産業誘致のアドバイス、投資説明会開催への協力、当該地域へ進出する日系企業への各種支援、等に取り組んでいきます。

なお、当行およびみずほ中国は、2013年1月のみずほ中国天津和平出張所の開業を機に、天津市内各開発区との連携を一層強化しており、中国天津地域では、2006年7月の天津経済技術開発区(TEDA)に続く提携となります。

以上

(ご参考) 今回業務協力協定書を締結した開発区の概要

	西青経済技術開発区	武清開発区
概要	1992年に設立された国家級開発区	1991年に設立された国家級開発区
主要な産業	電子情報、自動車関連、バイオ医薬等	自動車関連、電子部品、バイオ医薬、ハイテク、新素材関連等
外資企業 進出数 (開発区HP等 より抜粋)	457社 66億米ドル(投資総額ベース)	350社 41億米ドル(投資総額ベース)